

獣医師の就業環境の未来を考える

—すべての獣医師が働きやすい職場づくりに向けた取組 (XI)—

性差のない得意分野を生かす未来

甲斐みちの[†] (公社岡山県獣医師会 副会長)



1 根性の時代

私が大学を卒業したときはすでに子どもがいて、就職先を紹介してもらいたくても「女性は家庭を守れ」とのことで相手にしてもらえませんでした。自分で電話帳を開いて病院に電話して、直談判で安月給とはいえなんとか雇ってもらうことができました。ところが子どもを保育園に入るともう赤字、そこで朝3時に起きて新聞配達しながら小動物臨床を続けました。まさに根性の時代です。

2 決意

女性獣医師活躍推進委員会のメンバーに昨年お誘いいただき参加いたしましたが、女性だからという意識もなく、あまり意欲がわかずにはいました。しかしながら、令和5年日本獣医師会獣医学術学会年次大会 市民公開シンポジウム「獣医師の働き方改革とワーク・ライフ・バランス実現への道」に参加して、開業当初の苦勞を語った女性の話を聞いて、私も開業当初の情景がよみがえりました。そして少しでもこれからの人たちに役に立てるならと決意しました。

3 女性獣医師の現状

手がかりとして今の女性獣医師が何に困っているか聞くために、岡山県の女性獣医師に懇親会の案内を出しました。参加者がいるか不安でしたが、小動物部会11名・公衆衛生部会4名・畜産部会1名とお子さん2名の初回にしては満足な人数が集まりました。早速皆さんに日常感じている女性獣医師として困っていることや改善してほしいことを言っていました。

ところが、意外なことに今の職場での不満はなく、満足しているとの回答がほとんどでした。私の頃とは違って、さまざまな制度や就業規則の改革によって、子育て

しながらも仕事しやすい環境が多く職場で実現できているようでした。その中の何人かから出てきた話が介護の問題、親や祖父母に介護が必要になってやはり女性が率先してやらないといけないという話でした。

女性躍進と言っても、日本という国の物事の考え方は、女性が家事や育児、介護をやるのが当たり前という大原則があります。その根本的な考えが変わらない限りは、女性と生まれたことによって付きまとう責任は変わらないと思います。

懇親会の中で出てきた話で、職場で女性の割合は増加していますが、男性も大型犬のX線撮影や苦情対応などの場面では、必要になるので、逆に男性が少なくなっても困るという意見もありました。

また、自分のキャリアを生かすためにも夫婦別姓を望むとの意見もありました。

そしていずれの職場も今は人手不足が課題であるようです。急な感染症が出ることが心配で旅行にも行けないとの声もあれば、われわれは消防士と考えると急に忙しくなるのは仕方ない、そのかわり手当は厚くとの意見もありました。改めていろんな職種の獣医師がいろいろな場面で活躍されていることを実感しました。

結婚しない派の女性獣医師ももちろんいて、同年代が産休などでまとめて休むときも不公平に思わず寛大に受け止めているという素晴らしい意見も出ました。

また、獣医師会への入会問題も発覚しました。岡山県獣医師会に入会に支部長の推薦が必要なせいか、他県からの転居で入会したいと思って電話しても取り合ってもらえなかったというものでした。誰かの紹介がないと、就職していない女性獣医師が入会しようとしても入会できない状況があることに愕然としました。懸命に勇気を振り絞って獣医師会に電話して断られたらどんなに傷つくか、もう獣医師会には入らない覚悟を固めるかもしれません。これは今後のことも考えてなんとか変更していかないといけないと思い、理事会にかけて今後の方針変

[†] 連絡責任者：甲斐みちの (やさか動物病院)

〒700-0073 岡山市北区万成西町 15-27

☎ 086-251-0959 FAX 086-250-5211

E-mail : michino33doronjyo@gmail.com

表1 令和5年度女性獣医師活躍推進のための取組状況の調査結果（岡山県獣医師会）

| 職域等区分 | 区分の定義・説明 | 会員数 | 女性会員数 | 女性部会長等 (部会長◎, 副部会長○) |
|--------|-------------------|-----|-------|-------------------------|
| 畜産部会 | 県農林獣医師 | 66 | 31 | ○ 1人 |
| 公衆衛生部会 | 県・岡山市・倉敷市の公衆衛生獣医師 | 61 | 28 | ○ 1人 (3人中) |
| 小動物部会 | 小動物動物病院開業・勤務 | 186 | 52 | ◎ |
| 農業共済部会 | 農業共済組合獣医師 | 47 | 12 | |
| 合計 | | 360 | 123 | |

更を呼びかけました。女性だけでなく男性でもその支部長が気に入らなかつたら入会できないという話もあるようでした。こういう話を問題視し発言することができるのは、私の立場が理事で副会長だからです。

岡山県獣医師会の職域区分ごとの女性会員及び役員数は表1に示すようにいまだに少ないのが現状です。

今後は女性獣医師会員数が増え、役員が増えることによって、男性とは違った目線で意見交換ができることを期待します。

あつという間の3時間、参加者の皆さんは多くの方と話せて一様に楽しかったと去って行きました。久しぶりに3時間も女性のみと話した私は、ぐったり疲れてその後記念写真を撮り忘れたことに気づき愕然としました。

今回の懇親会は、女性獣医師委員会づくりまでの話に

表2 令和5年度女性獣医師活躍推進のための取組状況の調査結果（岡山県獣医師会会員獣医師数及び加入率）

| | 獣医師総数(名) | 会員数(名) | 加入率(%) |
|----|----------|--------|--------|
| 男性 | 376 | 399 | 100 |
| 女性 | 158 | 140 | 89 |
| 計 | 534 | 539 | 100 |

令和5年3月31日現在（獣医師総数は、令和2年12月31日現在の届出獣医師数）

はなりませんでしたが、定期的にこのような会を開いて意見を聞き出すことは非常に有意義だと感じました。

4 未来への展望

岡山県獣医師会は届出数に対しての獣医師会員加入率が97.6%と全国の獣医師会の中でも高い比率を維持していますが、女性獣医師の加入率は男性と比較すると低くなっています（表2）。

一時期コロナ禍で対面での交流が減っていましたが、昨年あたりから交流する場面も増加傾向にあります。これを機会ととらえ話し合うことでお互いのことを理解し合い、獣医師会の運営を改善できる余地はまだたくさんあると思います。

会員の皆様の能力をFULLに発揮できるように、改めて女性男性にかかわらず、それぞれの得意分野が活かされながら協力し合って獣医師の未来が明るくなることを切に願います。